

2024年10月10日

各 位

会 社 名 株式会社明光ネットワークジャパン  
代表者名 代表取締役社長 山下一仁  
(コード番号 4668 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員経営企画部長 坂元 考行  
(TEL 03-5860-2111 代表)

### 当社取締役会の実効性評価の概要に関するお知らせ

当社は、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と更なる企業価値向上を目指すため、取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 評価の方法

前年度（2023年度）における取締役会実効性評価での課題を踏まえ、取締役会の実効性を測る指標として、取締役会の構成、審議状況、運営体制、任意の諮問委員会の実効性等の全13項目からなる質問票をすべての取締役へ配布し、全員からの回答により得られた意見等に基づき、改善状況を確認いたしました。

#### 2. 前年度（2023年度）における取締役会実効性評価での課題

サステナビリティの取組みへのリソース配分や優先順位の検討及び、社内浸透とグループガバナンス強化に関する議論の充実を図ること。

#### 3. 評価結果の概要

サステナビリティ委員会を定期的に開催し、サステナビリティ課題に関する議論を深め、取組む事項について優先順位を決定いたしました。また、サステナビリティに関する研修を実施し取組みを社内に浸透させる活動を実施いたしました。グループガバナンス強化といたしましては、グループ統括室を新設し、グループガバナンスを組織的に強化するための体制を構築し運用を開始いたしました。

よって、前年度の課題につきましては、一定の改善がなされており、取締役会の実効性が確保されていると評価いたしました。

しかしながら、以下の課題があることを認識いたしました。

適切なガバナンスと機動性を維持しながら、M&A戦略やグループガバナンスの更なる強化を含む中長期的な成長戦略の議論を深めていくこと。

#### 3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会にて課題解決に向けた継続的な取り組みを行い、取締役会の実効性について更なる向上を図ってまいります。

以 上